法國
青淡

西遊記續篇

四

ル 3
474
9

門 四 3
號 490
卷 9

京都 西本願寺 上田仙吉 四条下

西遊記後編目録

四之巻

那智の瀑布
出来の豆腐怪
龍八玉
海水増腐
桂林
肥後の毒虫
ろくろ首の子孫
耶頂

西遊記後編巻之四目録

西遊記後編巻之四

那須乃瀑布

余年久要那須山乃瀑布を見ん〻と欲し居しが漸く
ものさびし秋に移りくれなゐ〻の紅葉せし頃漸こそ下野国と聞きも
瀑なりとて山乃こしぢをたどりて登りて見るに樹木乃
生ひやうまで他山に抜群なるべし此瀑布事ハ
幼き時より実に居くうやう〻に伝へしかども
格別に実れり扨こゝに居しハ下こゝろ乃やゝこ山乃絶壁にて
又巖石嶮しく峰くもすりこたのを切落しかれ十くこゝろ遠
まさに落くゝ乃峰一二町ばかりなる乃滝どく一山時雨まさる

[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ

かりとりてうゑしかたをしるしとなりとかの
ちくあれどもこれ[illegible]ちくなりとかの
ゆゑにこれをうゑしかたをしるしとなりとかの
[illegible]の[illegible]をうゑしかたをしるしとなりとかの
[illegible]ハ今[illegible]の寺[illegible]
[illegible]山の[illegible]
[illegible]
[illegible]

某用ゑ入でゝ一百年ゝ方暗黑なるゝ中に生ずゝ成る
夫迚京なゝ上地より出る和上和尚ゝ近来八方ゝ
より集ゝ乃ゝ上京かゝるゝ和尚乃樹を多く元目の為
為ゝて清ゝ水ゝ樹ゝ上ゝ成ゝ滝ゝ上ゝ流ゝ落ゝ上ゝ流ゝ落ゝて
樹ゝ方ゝ なゝ ゝ ゝ

[illegible]

樹木生ずれバ多くハ人民乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

肥後の毒蛇

[illegible]

[illegible]

[illegible]

る孫乃ち孫乃ち孫乃ち孫乃ち孫乃ち孫乃ち孫乃ちノシロコといふ不老一位
法を発人かう修せる者国内仏像乃時法
乃先君彼乃男女老幼ひとしく悲しみ
義をして彼乃親乃乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち
乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち乃ち

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
つとめ行くバ村人くゞ[illegible]
[illegible]れバ物[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゆうて今こそ秘蔵せるかたをかくして焼原くれ毛ゆえ
ひとくこうけてもゆうくしとかくしとかくしとか

世風俗を三変して年歯十八歳をしれば十
八の郎五郎は村の人くつもむ者村をあせ八方和
俗を訓ずるとしてこれ郎八方をこれ者
あつて五年俗をつとめるに新て歳十七歳国八郎五
郎を流くこれ俗を世村八くの郎五郎
郎を流くハむ乃年好う

蛇乃丑

蛇乃丑

蛇乃丑

蛇乃丑

蛇乃丑

玉

龍

幸あり。しかるを、なぜ、彼、西遊記、ふ、あるてそれより、西遊記、ふ、物を出して、さ、さ、彼、眼内に、あるて、人乃、孔乃、宮、を、ふ、ハ、り、彼し、動、て、山、び、彼、地乃、姫、歸、これ、を、ふ、く、樂、こ、と、を、き、幸、彼、ふ、も、行、る、ように、ふ、先、西遊、夫、和、こ、出、こ、く、こ、ろ、れ、く、こ、れ、こ、や、し、れ、の、ま、て、動、く、ろ、ふ、ま、ま、こ、て、ぬ、宮、陣、といひ、ひ、し、あ、こ、れ、ろ、く、も、ま、ま、美、人、乃、ま、ま、ま、で、ふ、ま、ま、を、ま、ま、ま

これも同じく西方の人にて三ヶ村同様の所に
熟年ようやくあぶなくなりて来たりしに十八九年
ばかりもあるべしやと博士の人のいう来歴の博士ハ
年の方ようやく余ほど来たりて対面をなす形容行ふ
とりかへて新しく新たに出来たる所の名
高くしかるに年をおもに出来たる所の名
あらしよう形容もなくなりて久敷博士に
あらしぶ教代出家を家にようなる家に入
らん事我形ひとり人乃行ふまでなく代々伝
来なるなり夫家乃をなかなども今ハ形あり

出来たる形容と名付し由来ハ家系の名字乃形
山中にかくれ住るようなる海人なども出来ハ
形容ようなるう金乃行ふ家といふて金じ形ひ平家ハ
家業代乃みな他国ようなる形容ようなる家出地にして
此体せいうぶ家乃くいて他なる体にて再びうを
親ばとべ丈家也もあらざ出乃人生ば形容も家乃人生ば教あ
ぬ雑人乃前ばく切ふもて平家乃家形ばしば迷ひし
早ぬと漁人家くを抜ふ新し平家乃くてふ行ふ形容の
名ふるを張ってあらくは出もの人ハ己ぶ家接ふと抜ふ新しを
身も年久敷土あらうこと家ようなる行ふこと形容ハ海人ようこと

もゝ味ちく手系乃くくしもちゐく一せをこゝ陪ふこゝは
手系乃くのゝ孫も連陪しゝておもまつり形成乃ゝ孫
も聖哉して二系とゝ心ゝ形成氏を名字乃ゝ中ゝ世飛ゝ
本地ゝもちゝ陪山を世くゝもゝでめてくゝ陪世しなせゝ
ゝゝ八ゝゝくゝ乃ゝ名山ゝを稱じてゝ陪ゝ形成とつゝゝく
世形陪ゝ猪ゝて秋ゝ推ゝ山ゝでいゝゝゝ陪世ゝ
乃ゝ陪ゝ乃陪ゝ系乃陪ゝ

海内境界　終

廣世陪乃ゝ入ゝ西乃ゝ八ゝ陪ゝ系乃ゝ陪ゝ
偶なゝ者小元二年ゝ年ゝ和十二年ゝ陪乃

ゝ中ゝ陪ゝ乃ゝ陪ゝ世ゝ世陪ゝ世陪乃ゝ系乃ゝ
陪乃陪ゝ中ゝ陪ゝ世ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ
世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ
十二ゝ乃陪乃ゝ陪ゝ陪ゝ世ゝ世陪ゝ世陪ゝ
ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ
陪ゝ乃ゝ陪ゝ世ゝ世陪ゝ世陪ゝ世陪ゝ
陪ゝ世ゝ世陪

乃ち加治木乃ちを乃流れより村を流れ引きまたる糸
しあり又流れたくるして一村引きひろ地面に稲
ある村もあり流れ乃あの左て一丈七尺位乃ちく
なるまる事つくなくあるもまるんかしまふさんく稲
乃地し事を左ちを分しうども流乃地まくあ乃たるく
なる所もあれまぐ左乃新稲を生成せるもちあ乃
ずとをして塩減をるあ乃事ゆをあ地を乃ぐの
一説を稲作乃宮やけくを事より新米ちがを頂出
ぬまを八幡乃左ち湖二を出乃地市乃ちがを頂をけくは二国
乃左地作くあるを流をくをるゆるとを

れもあまり度左れる沼なるいづまは人流ざるり乃
稲作地乃ぬよくをるを乃ぬ
流乃流を乃左地乃猫動なる地まるまを
地をよりてかしで乃まひあり小流乃流
をさしりをづる二三寸乃当なり南流を
流を多くくふ桑稲作地乃ら乃稲
流作長作流乃高なるハ流乃引く二丈
三丈乃乃ぐれ新く南流乃南西乃流ハ
流をくしみち地乃稲をようて流乃流を
方まるを作地乃鞭乃乃ようを流地

[illegible]

[illegible]

[illegible]